

第3学年 音楽科学習指導案

日 時 平成20年11月20日(木) 5校時

学 級 3年C組 男子17人,女子13人 計30人

授業者 本 庄 吏 恵

1 題材名 教材名「心の瞳」他

2 題材について

(1) 学習内容の概観

この題材は学習指導要領の「A 表現」の内容のア「歌詞の内容や曲想を感じ取って歌唱表現を工夫すること」、エ「声部の役割を生かし、全体の響きに調和させて合唱や合奏をすること」、「B鑑賞」の内容ア「声や楽器の音色・リズム、旋律、和声、を含む音と音とのかかわり合いによって生み出される曲想とのかかわりを理解して聴くこと」にかかわるものである。生徒がより個性を生かした音楽活動を展開するために興味・関心をもつ学習活動を選択することや、表現方法や表現形態を選択できるよう、小アンサンブルなどの編成を工夫することが示されている。

そこでこの題材では、グループで考えたイメージや曲想を持ち、豊かに表現する能力を育てたい。そのために、音楽の諸要素のはたらきを理解させていくことが必要である。また、お互いに聴きあい、音の重なりやハーモニーの美しさを味わえるようにしたい。

(2) 生徒の実態

事前アンケートによると、音楽は好きで意欲的に取り組んでいる生徒が多い。しかし、意欲に欠ける生徒や集中力のない生徒も少数いる。合唱練習などでは周囲の生徒に協力してもらいながら少しずつ練習を進めている。1学期の音楽祭では最優秀賞をとり、学級の団結を深めることができた。しかし学級で合唱する機会は多いものの、アンサンブルは初めてという生徒がほとんどである。そこで、今まで自分たちで取り組んできた練習についても工夫しながら、小アンサンブルの楽しさを味わうことができるようにしたい。

(3) 指導の構想

練習の前に曲の特徴を考えさせ、どのように歌いたいのか、イメージを持って曲づくりに取り組ませる。そのために、音楽の諸要素のはたらきはもちろん、フレーズのまとまりや歌詞の意味、ことばのまとまりなどについても大切にしながらどう表現していくのか自分たちで考えて話し合い、それを表現につなげられる力を育てたい。練習では少人数でも自信を持って声を出せるよう、音をよく聴いて覚えるようにリーダーを中心に協力し合えるように指導していく。また、お互いの発表を聴きあい、聴いて学んだことを自分たちの練習に生かせるようにしていく。

(4) 基礎的・基本的な知識・技能の習得を図るための本単元での取組

学習課題を明確にし、練習を進めるうえでどんなことを工夫していけばよいか、プリント等を活用しながら進める。自己評価プリントを使い、どこができて、どこができなかったのかを文章で明確にし、次の学習につなげていけるようにする。

3 題材の目標

- (1) 意欲的にアンサンブルに取り組もうとする態度を育てる。
- (2) ことばや強弱について工夫しながら、曲にふさわしい歌唱表現を工夫する能力を養う。

4 題材の評価規準と指導計画

時間	学習内容	音楽への関心・意欲・態度	音楽な感受や表現の工夫	表現の技能	鑑賞の能力
1	曲の特徴つかむ。	・関心を持って聴き、意欲的に選曲に取り組むことができる。	・選んだ曲をどのように表現したか考える。		
2	どう表現していくかイメージを持ち、練習する。	・自分たちで考えたことばや強弱の表現ができるように、意欲的に練習に取り組むことができる。 ・話し合いに協力することができる。	・工夫して表現しようとしている。	・工夫するところを考えて表現できる。	
1 (本時)	どう表現していくかイメージを持ち、練習する。(中間発表会)	・自分たちで考えたことばや強弱の表現ができるように、意欲的に練習に取り組むことができる。 ・話し合いに協力することができる。		・ことばや強弱について、工夫して練習した部分を表現することができる。	
1	発表会	・意欲的に練習に取り組むことができる。	・中間発表会のアドバイスを踏まえ、よりよい発表になるように工夫する。	・工夫して練習した部分を表現することができる。	

5 本時について

(1) 本時の目標

- ・ 自分たちで決めたイメージや表現を目指して練習することができる。【関心・意欲・態度】
- ・ ことばや強弱の表現について工夫して練習した部分を表現することができる。【表現の技能】

(2) 指導の構想

自分たちで選んだ曲をどのように表現したいのか，グループで話し合わせてから練習に取り組ませる。発表の前に，工夫した部分や気をつけたところを言ってから発表し，聴きあい，お互いの良さを認められるように指導する。また，自己評価プリントで振り返り，次時につなげたい。

(3) 具体の評価規準と評価方法

観 点	具体の評価規準		努力を要する生徒の 指導の手立て	評価方法
	A	B		
関 心 ・ 意 欲 ・ 態 度	ことばや強弱の表現について，積極的に話しあい，考えることができる。	ことばや強弱の表現について話し合うことができる。	どの部分を工夫して練習していくのか，気をつけるところを指導する。	観察，プリント
表現の技能	ことばや強弱の表現について工夫して表現することができる。	ことばや強弱の表現について表現することができる。	グループで決めたところををひとつでもできるように支援する。	練習，自己評価プリント

(4) 展開

	学習内容	時間	学 習 活 動	○評価項目と●留意点
導 入	1 本時の確認	10	ベル着 既習曲の合唱 1 本時の学習課題	
ことばや強弱の表現について自分たちで工夫したところを発表しよう。				
展 開	2 グループで話し合う 3 グループで練習	20	2 グループで話し合い、表現で工夫するところについて、話し合う。(プリント) 3 各グループに分かれて練習する。	○意欲的に話し合いに参加しているか。【関心・意欲・態度】 ●リーダー中心に話し合う。 ○表現をどのようにするか工夫するところについて考えることができる。【関心・意欲・態度】 ●巡視しながら助言，支援する。
	4 中間発表会(練習したところまで)	15	4 グループごとに発表する。発表前に，練習で工夫したところを述べてから歌う。	○工夫した部分を表現できる。 【表現の技能】
	5 感想発表		5 感想を書いて発表する。 ・よかったところ ・気をつけるところ など	●必要なアドバイスをする。
終 末	6 自己評価プリントの記入(振り返り)	5	6 自己評価プリントに記入し，今日の学習を振り返る。	